

ミル&ジュースミキサー

形名：TM112

取扱説明書

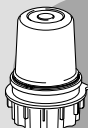
保証書付き

保証書は、裏表紙に付いております。
販売店にて必ず記入を受け、大切に
保管してください。

お買い上げありがとうございました。
ご使用になる前に、この取扱説明書
を必ずお読みいただき、正しくご使
用ください。

ミキサー

まぜる機能により、
ジュースやスムージーが
できます。

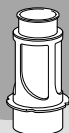


ミル

乾燥した材料の粉砕、
マヨネーズやペーストなどが
手軽にできます。

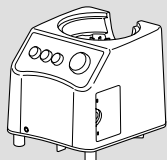
マイクロメッシュフィルター

きめ細かなオリジナルの
メッシュフィルターで
なめらかな豆乳などが
簡単に作れます。



スムージーバー

専用のバーで
栄養満点の
スムージーが
作れます。



●レシピbook付き

もくじ



安全上のご注意 …………… 1・2

ミキサー部のなまえとはたらき
組み立て・分解 …… 3



ミキサー部の使いかた …………… 4

マイクロメッシュ
フィルターの使いかた …… 5

スムージーバーの使いかた …… 6

ミル部のなまえとはたらき
組み立て・分解、使いかた …… 7

材料の入れかた・使えない材料 …… 8



お手入れのしかた …………… 8



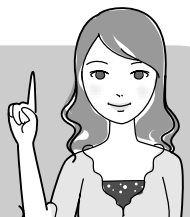
故障かな?と思ったら …… 9



仕様 …………… 9

アフターサービスについて ……10

保証書 …………… 裏表紙



安全上のご注意

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産の損害を未然に防ぐためのものです。必ずお守りください。
- 注意事項は次のように区分しています。

警告

誤った扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意

誤った扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

絵表示の例

記号は、「してはいけないこと」の内容をお知らせするものです。

(左図の場合は分解禁止)

記号は、「しなければならないこと(強制)」の内容をお知らせするものです。

(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)

警告

動作中にフタを開けない。
けがをする恐れがあります。
禁止

動作中にフタやボトルなどの取り付け・取り外しはしない。
けがをする恐れがあります。
禁止

ボトルの中に指・スプーン・箸など調理材料以外のものは入れない。
けがをする恐れがあります。

子供だけで使わせない。
幼児の手の届く所で使わない。
子供や幼児がけがをする恐れがあります。

スムージーを作る時、スムージーバー以外のものを使わない。
けがをする恐れがあります。

修理技術者以外は、絶対に分解・修理・改造をしない。
分解禁止
発火・感電の恐れがあります。

カッターや回転部を露出したままで動作させない。
けがをする恐れがあります。

水につけない。水をかけない。
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。
ぬれ手禁止
感電の恐れがあります。

注意

必ず守る
切スイッチを押してから、電源プラグを抜き差しする。
けがをする恐れがあります。

禁止
本製品は家庭用なので、業務用として使わない。
調理以外の目的では使わない。
本製品が破損する恐れがあります。

コンセントから電源プラグを抜く時は、電源プラグを持って抜く。
電源プラグを傷める恐れがあります。

動作中に移動させない。
けがをする恐れがあります。

手持禁止
カッターは鋭利なので直接手を触れない。
けがをする恐れがあります。

不安定な所では使わない。
けがをする恐れがあります。

電源プラグを抜く
使用後は必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
火災・感電の恐れがあります。

40℃以上の材料はボトルに入れない。
ボトルが割れけがをする恐れがあります。

禁止
交流100V以外で使わない。
(日本国内専用)
発火する恐れがあります。

材料が多すぎたり、その他の原因で動作が止まった時は、そのままの状態では使わない。
本製品が破損する恐れがあります。

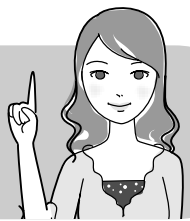
電源コードや電源プラグが傷んだ時は使わない。
差し込みのゆるいコンセントは使わない。
発火・感電の恐れがあります。

空回ししない。最少量より少ない材料で使わない。
本製品が破損する恐れがあります。

ミルの場合、定格時間1分以上の連続動作はしない。
(次の動作まで20分以上休止させる。)
本製品が破損する恐れがあります。

フタやボトルなどの取り付け、取り外し及び、お手入れする時は、電源プラグを抜いておく。
けがをする恐れがあります。

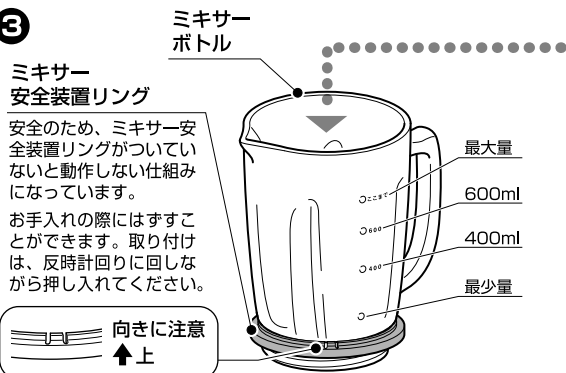
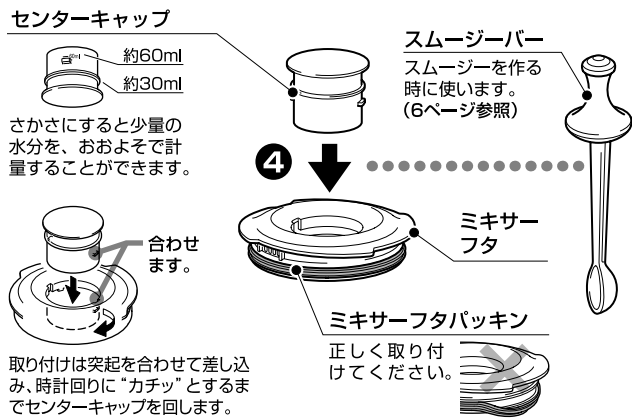
電源コードは、
●無理に曲げない
●ねじらない
●引っ張らない
●重い物を乗せない
●熱い物に近付けない。
電源コードが傷む恐れがあります。



ミキサー部のなまえとはたらき 組み立て・分解

ミキサー部の組み立ては①～④の順番でおこなってください。
本体からミキサー部を取り外す時は、切スイッチを押し、電源プラグを抜いてから取り外してください。

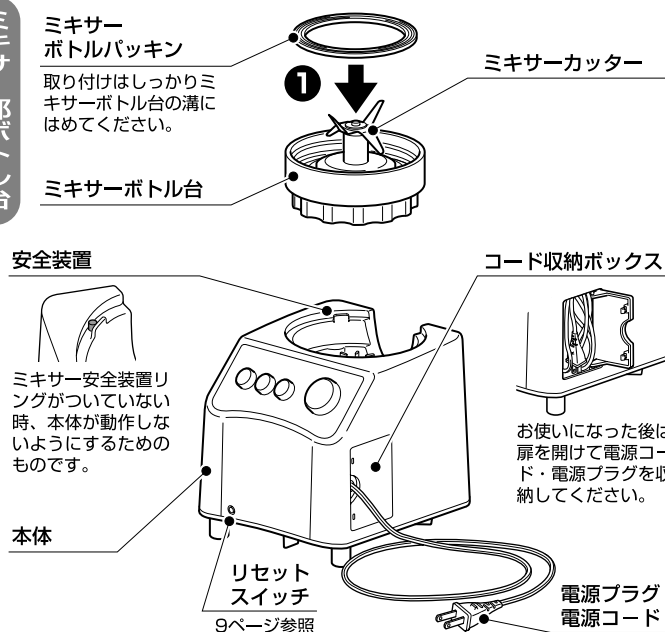
ミキサー部フタ



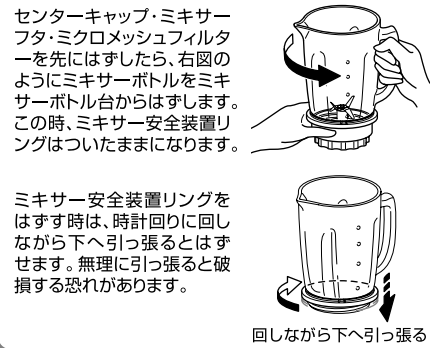
ミキサー部ボトル

②

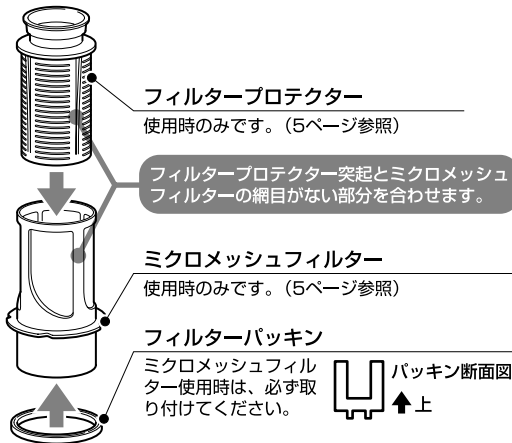
ミキサー部ボトル台



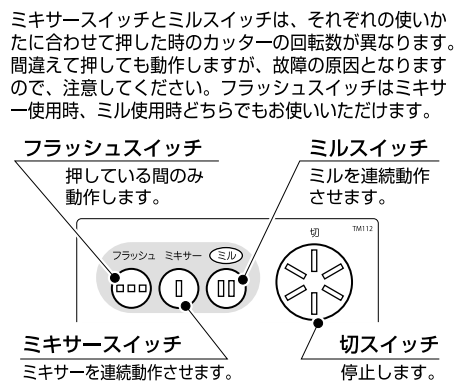
ミキサー部の分解



フィルター部



電源スイッチについて



ご注意

- 各パッキンはしっかりミキサーボトル台・ミキサーフタ、マイクロメッシュフィルターに取り付ける。
- ミキサーカッターには直接触れない。



ミキサー部の使いかた

本体からミキサー部を取り外す時は、切スイッチを押し、電源プラグを抜いてから取り外してください。
材料の分量や切りかたなどは、付属のレシピbookをご覧ください。

基本的な使いかた

- 1 ミキサーボトルにミキサーボトル台を付け、材料を入れます。
必ず水分を入れてください。
材料は2cm角位の大きさにします。
にんじんなど固いものは2～3mmのうす切りにしてください。
- 2 ミキサーフタ・センターキャップをして本体にのせます。
フタの突起とボトルの注ぎ口を合わせてください。
- 3 電源スイッチが「切」になっていることを確認してから電源プラグをコンセントに差し込み、フタ上部を手で押さえてフラッシュスイッチを何度か押します。
フタを押さえないと材料が飛び出す恐れがあります。
- 4 ミキサースイッチを入れます。
定格時間を守ってください。
ミルスイッチは絶対に押さないでください。
- 5 切スイッチを押し、電源プラグを抜きます。
- 6 注ぎ口を合わせて注ぐと泡が少なくなります。

氷の砕きかた

- 1 ミキサーボトルにミキサーボトル台を付け、角氷を入れます。
必ず家庭用製氷皿の角氷を使ってください。
(角氷10個まで)
- 2 ミキサーフタ・センターキャップをして本体にのせます。
- 3 フタ上部を手で押さえてフラッシュスイッチを何度か押します。
フタを押さえないと材料が飛び出す恐れがあります。
- 4 お好みの状態になったら電源プラグを抜きます。
さいばしなどを使うと取り出しやすいです。

ご注意

- 空回ししない。
- ミキサー使用時にはミルスイッチは使わない。
- 最大量以上、材料と水分は入れない。
- 必ずミキサーカッターがかくれる(最少量)まで材料と水分を入れる。
- できあがり量が「ここまで」以上にならないようにする。
- 動作が完全に止まってから電源プラグを抜き、ミキサー部を本体からはずす。
- 動作しなかったり途中で止まった時は、すぐに切スイッチを押し、電源プラグを抜き、材料の量を減らしたり、水分を加えたりしてから再び電源プラグを入れ、リセットスイッチを押す。(9ページ参照)



マイクロメッシュフィルターの使いかた

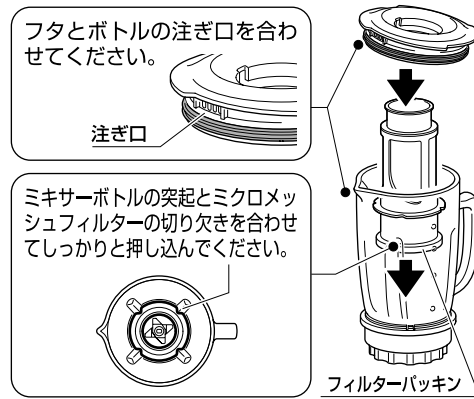
代表的なメニュー（豆乳、水出し緑茶）で紹介します。
フィルタープロテクター、マイクロメッシュフィルター、フィルターパッキンのセットについては3ページを参照してください。

豆乳の作りかた

材料	(できあがり: 250ml)
乾燥大豆	25g (浸水で60g)
水	400ml

1 大豆は洗って、大豆の3倍量の水に8時間浸しておきます。

2 フィルタープロテクターをセットしたマイクロメッシュフィルターをミキサーボトル台に押し込むようにしっかりとセットし、ボトルフタをセットします。



3 よく水を切った大豆と水をマイクロメッシュフィルターに入れます。



4 電源スイッチが“切”になっていることを確認してから電源プラグをコンセントに差し込み、センターキャップをして本体にのせ、ミキサースイッチで90秒連続動作します。

ミルスイッチは絶対に押さないでください。



5 マイクロメッシュフィルター外側の豆乳を注ぎ口より鍋に移し、中火で加熱します。沸騰したら火加減を弱火にして焦げないように5分間煮ます。



耐熱容器に入れラップをかけて電子レンジで加熱してもできます。(600Wで約5分)

水出し緑茶の作りかた

材料 (できあがり: 650ml)	
緑茶葉	8g
冷水	700ml

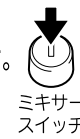
1 フィルタープロテクターをセットしたマイクロメッシュフィルターをミキサーボトル台に押し込むようにしっかりとセットし、ボトルフタをセットします。

2 緑茶葉と冷水をすべてマイクロメッシュフィルターに入れ、電源スイッチが“切”になっていることを確認してから電源プラグをコンセントに差し込み、センターキャップをして本体にのせます。



3 ミキサースイッチで40秒連続動作します。

ミルスイッチを押さないでください。



4 マイクロメッシュフィルター外側の緑茶を注ぎ口より注いでできあがりです。

フィルター内に液体が残っている場合はさらに10秒連続動作します。

ご注意

- マイクロメッシュフィルターがミキサーボトル台にしっかりとセットされていないと、大豆の皮や茶葉がマイクロメッシュフィルターの外側にもれるので、確実にセットする。
- マイクロメッシュフィルターにフィルタープロテクターがきちんとセットされていないと、大豆の皮や茶葉がマイクロメッシュフィルターの外側にもれるので、確実にセットする。

- ミルスイッチは使わない。
- 動作しなかったり途中で止まった時は、すぐに切スイッチを押し、電源プラグを抜き、材料の量を減らしたり、水分を加えたりしてから再び電源プラグを入れ、リセットスイッチを押す。(9ページ参照)



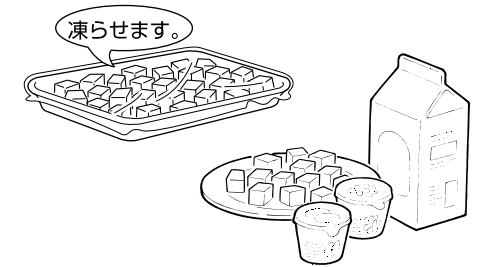
スムージーバーの使いかた

スムージーとは、冷凍した果物や野菜を、牛乳やドリンクヨーグルトなどの水分と一緒にいただいた飲み物です。

材料の準備

果物などの固形物は、2cm角くらいの大きさに切ってから、材料同士がくっつかないように並べ、ラップをして一晩凍らせます。

レシピbookを参考に分量を守って作ってください。分量が多すぎたり少なすぎたりすると故障の原因となります。



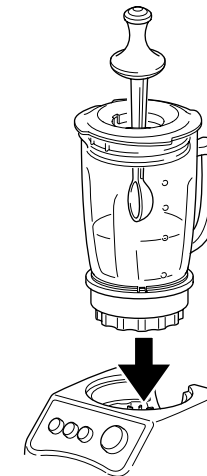
使いかた

1 ミキサーボトルにミキサーボトル台を付け、材料を入れます。

ミキサーボトルパッキン、ミキサーボトル台、ミキサー安全装置リングが正しくセットされているか確認します。
液体→ヨーグルト(レシピによる)→固形物の順に材料を入れます。



2 ミキサーフタをしてスムージーバーをミキサーフタの穴に入れ本体にのせます。



3 ミキサースイッチを押し、同時にスムージーバーでかき混ぜます。

スムージーバーは、上部を握り反時計周りに回すと効果的です。なめらかになるまでかき混ぜます。
ミルスイッチは絶対に押さないでください。

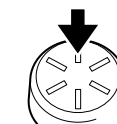


ミキサースイッチ
※20秒以上は行わないでください。

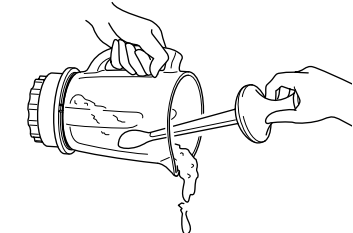


4 切スイッチを押し、電源プラグを抜きます。

スムージーバーを使うと取り出しやすいです。



切スイッチ



ご注意

- スムージー作りは20秒以上行わない。
- 動作中はフタを開けたりスムージーバーを抜いたりしない。

- 動作しなかったり途中で止まった時は、すぐに切スイッチを押し、電源プラグを抜き、材料の量を減らしたり、水分を加えたりしてから再び電源プラグを入れ、リセットスイッチを押す。(9ページ参照)

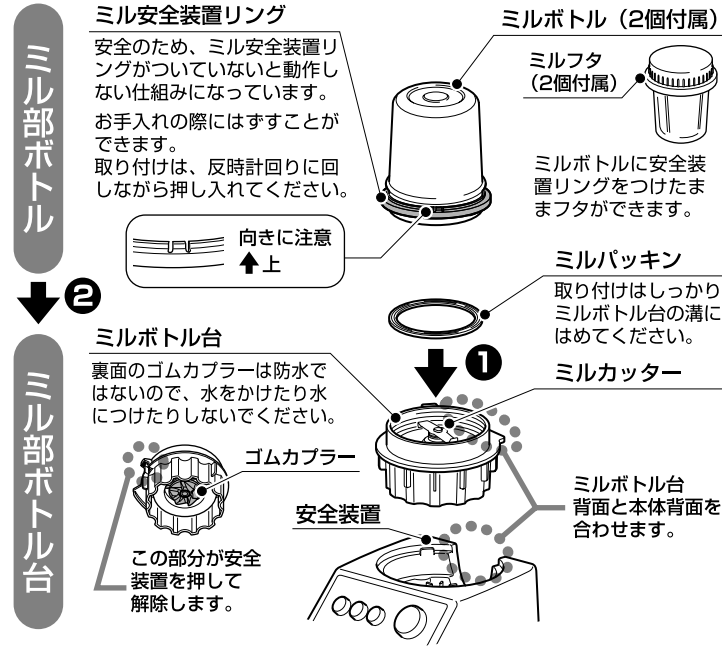


ミル部のなまえとはたらき 組み立て・分解、使いかた

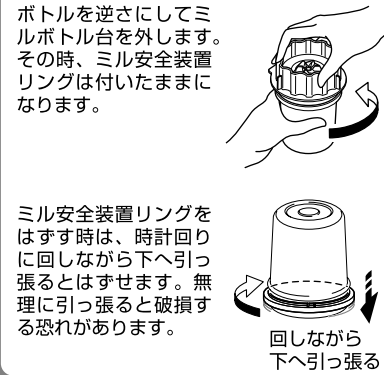
本体からミル部を取り外す時は、切スイッチを押し、電源プラグを抜いてから取り外してください。
材料の分量などは、付属のレシピbookをご覧ください。

各部のなまえとはたらき、組み立て・分解

ミル部の組み立ては①～②の順番でおこなってください。



ミル部の分解



ご 注意

- ミルパッキンはしっかりミルボトル台に組み付ける。
- ミルカッターには直接触れない。
- ミルカッターはミルボトル台から分解しない。

基本的な使いかた

- 1 ミルボトルに材料を入れ、ミルボトル台を付けます。
ミルパッキン、ミルボトル台、ミル安全装置リングが正しくセットされているか確認します。
材料の最大量は、ミルボトルの1/3までです。
- 2 本体にのせます。
ミルボトル台の背面と本体背面を合わせます。
- 3 電源スイッチが「切」になっていることを確認してから電源プラグをコンセントに差し込み、ミルボトル上部を手で押さえてミルスイッチを押します。
ミルボトル上部を押さえないとミル部が本体から外れる恐れがあります。
材料が少なく、ボトル内で跳ね上がり調理できない時は、フラッシュスイッチを使ってください。
- 4 切スイッチを押し、電源プラグを抜きます。

ご 注意

- ミルの動作時間は合計1分以内にする。動作時間が合計1分に達したら、必ず休止(20分以上)してから動作させる。
- 調理したものがミルボトルの内側に付着した時は、動作を止め、電源プラグを抜き、付着した材料をさいばしなどでかき落としてから入れなおす。
- 動作が完全に止まってからミル部を本体からはずす。
- 動作しなかったり途中で止まった時は、すぐに切スイッチを押し、電源プラグを抜き、材料の量を減らしたり、水分を加えたりしてから再び電源プラグを入れ、リセットスイッチを押す。(9ページ参照)



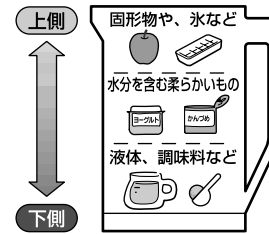
材料の入れかた・使えない材料

材料の入れかた (ミキサー部)

材料は水分の多い材料を下側へ、固形物は上側になるように、ボトルへ入れてください。

にんじんなどは2～3mmにうすくスライスしてください。材料が大きいと固形物が残る場合があります。

ミキサーボトルの最大量(「ここまで」の位置)、まで入れないでください。あふれます。



使えない材料 (禁止材料)

- ミキサー部: 固いもの・乾物類 (かつおぶし、乾燥した朝鮮にんじん) / 肉・魚類 / ねばりけの強いもの (とろろいもなど)
- ミル部: 氷だけの切削 / 繊維質の強いもの (たくあんなど) / 非常に固いもの (猿の腰掛け、根昆布、かつおぶし、炒っていない豆類、氷砂糖、黒砂糖) / 水分や油分が出るもの (玉ねぎ、ピーナツ、ゴマなど) / 乾燥させた果物 (レーズンなど)

ご 注意

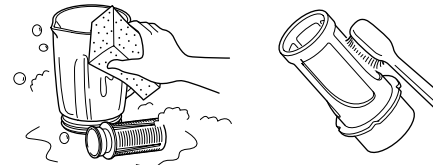
- フードプロセッサーではないので、ハンバーグやギョーザのタネ作りに使わない。

お手入れのしかた

切スイッチを押し、電源プラグを抜いてからお手入れをしてください。

ミキサー部 (ミキサーボトル台以外)・スミージーバー・マイクロメッシュフィルター・ミル部 (ミルボトル台以外)・パッキン類

台所用洗剤とスポンジを使って水洗いします。マイクロメッシュフィルターはやわらかい歯ブラシを使ってメッシュ部の汚れを落とします。

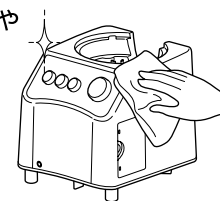


洗う前に、ミキサーボトルを組み立てた状態でぬるま湯を1/3入れ台所用洗剤を数滴加え動作させてから洗うと簡単です。



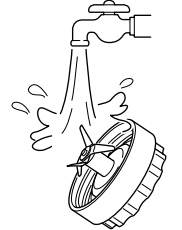
本体

やわらかい布を「石ケン水」や「水で薄めた中性洗剤」に浸し、よくしぼってからよごれなどを拭き取ります。



ミキサーカッター・ミルカッター・ミキサーボトル台・ミルボトル台

カッターはブラシなどを使って水で洗い流した後、十分に乾燥させます。裏面のゴムカバーは防水ではないので、よくしぼったふきんでよごれを拭き取ります。



ミキサーボトル台・ミルボトル台裏面のゴムカバーは、直接水をかけたり、つけ置き洗いをしないでください。

ご 注意

- ベンジン・シンナー・金属たわし・磨き粉・化学ぞうきをよごれ落としとして使わない。
- 食器洗い乾燥機や食器乾燥器は使わない。
- ミキサーカッター・ミルカッターには直接触れない。
- お手入れの後、必ずパッキン類をつける。
- 汚れや水分をきれいに落としてから保管する。(カビなどの予防のため)



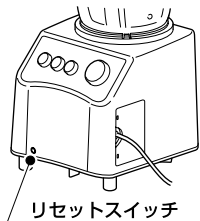
故障かな?と思ったら

下記のことをお確かめになり、それでも調子が悪いときはただちにご使用を中止し、お買い上げの販売店、または弊社「お客様ご相談窓口」にご相談ください。(10ページ参照)

こんなときは	考えられる原因	こう処置してください
振動が大きい。	<ul style="list-style-type: none"> ●材料の切り方が大きすぎる。 ●材料の量が多すぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●材料を小さく切りなおす。 ●材料の量を減らす。
刃が回らない。 途中で止まる。	<ul style="list-style-type: none"> ●材料の量が多すぎる。 ●水分が少なすぎる。 ●安全装置が働いた。 ●組み立てが確実にされていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●切スイッチを押し、電源プラグを抜き、材料を減らしたり、水分を加えたりした後、電源プラグを入れ、リセットスイッチを押す。(下記参照) ●組み立てを確実にする。
水がもれる。	<ul style="list-style-type: none"> ●ボトルとボトル台のしめつけが足りない。 ●ボトルとボトル台が正しくしめつけられていない。 ●パッキンが正しく取り付けられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●確実に止まるまでしめつける。 ●もう一度分解して組み立てなおす。 ●パッキンを正しく取り付ける。
マイクロメッシュフィルターのメッシュにしわができた。	●ぬれるとしわが多くなります。	●使用上は問題ありません。乾くとともにもどります。
煙がでる。 コードがねじれて戻らなくなった。	ただちに使用を中止してください。 「お客様ご相談窓口」にご連絡ください。	

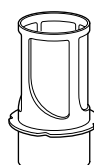
動作しなかったり途中で止まったときは...

材料が多すぎたり、水分が少なすぎたり、ねばりけの強い材料を使うと、内蔵のモーターに負荷がかかり過ぎ、安全装置が働いて動作しなかったり途中で止まったりします。
その場合、すぐに切スイッチを押し、電源プラグを抜き、水分を加えたり、材料の量を減らしてから再び電源プラグを入れ、リセットスイッチを押します。リセットスイッチを押さないと再び使うことができません。



マイクロメッシュフィルターの寿命

マイクロメッシュフィルターは消耗品です。使用回数にかかわらず、メッシュが破れたりほつれたりした時や、大豆の皮や茶葉がマイクロメッシュフィルターの外にもれるようになりましたら交換してください。



お求めはお買い上げの販売店、または弊社「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

仕様	品名	ミル&ジュースミキサー	形名	TM112
	電源	AC100V 50-60Hz	コード長さ	1.7m
	消費電力		容量	ミキサーボトル.....800ml ミルボトル.....200ml
	寸法		重量	
	定格時間			
	回転数			



アフターサービスについて

1.保証書について ———— 保証期間はご購入日より1年間です。

この取扱説明書には裏面に商品の保証書が付いています。保証書はご購入販売店で「販売店名・ご購入日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

2.修理を依頼される時

- 保証期間中は商品に保証書を添えてご購入販売店にご持参ください。保証書の記載内容にそって修理いたします。
- 保証期間が過ぎているときはご購入販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3.補修用性能部品の保有期間

当社では、この商品の補修用性能部品(商品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は製造打ち切り後6年としております。

4.ご使用中にふだんと変わった状態になったとき

ただちにご使用を中止し、ご購入販売店に点検・修理をご依頼ください。お客様ご自身の分解修理は危険です。(修理には特殊な技術が必要です。)

5.アフターサービスについてご不明の点があるとき

ご購入販売店にお問い合わせください。

- ご転居により、ご購入販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、事前に販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで、ご購入販売店のアフターサービスを受けられない場合は、下記の「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。

テスコムお客様ご相談窓口

受付時間:平日 9時~17時

●部品・修理についてのお問い合わせ



0120-343-122

●商品・お取り扱い・その他のお問い合わせ



0120-106-018

〒390-0821 長野県松本市筑摩4-1-20

TEL 0263-26-4870

FAX 0263-25-0808

株式会社 **テスコム**

〒141-0031 東京都品川区西五反田5-5-7

愛情点検



『長年ご使用のミル&ジュースミキサーの点検を！』

- ご使用前に必ず電源コード・カッター刃・ボトルなどに傷・欠けやヒビなどがないかお確かめください。

〈無料修理規定〉

お買い上げ日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき、お買い上げ販売店が無料修理いたしますので商品と本保証書をご持参ご提示の上、お買い上げ販売店にご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - ①使用上の誤り、改造や不当な修理による故障または損傷。
 - ②お買い上げ後の落下、引越、輸送などによる故障または損傷。
 - ③火災、地震、水害、落雷などの天災ならびに公害や異常電圧などの外部要因による故障または損傷。
 - ④業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
 - ⑤本書の提示がない場合。
 - ⑥本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- ご転居の場合は事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本書に記入してあるお買い上げ販売店に修理を依頼されることができない場合は、最寄りの「テスコム支店・営業所」にお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

●修理メモ

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げ販売店または最寄りの「テスコム支店・営業所」にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは「アフターサービスについて」の項をご覧ください。
- 当製品の保証書にご記入いただいた、お客様の個人情報は、修理・交換品の発送のみに使用し、それ以外の目的で使用したり、第三者に提供する事は一切ございません。

保 証 書				持込修理
品名	ミル&ジュースミキサー	形名	TM112	保証対象 本体
保証期間	お買い上げ年月日より 1年間		★お買い上げ年月日	年 月 日
★お客様	ご芳名		住所・店名	
	ご住所 (〒)		★販売店	
	お電話		電話	

株式会社 **テスコム**
www.tescom-japan.co.jp

本社／東京都品川区西五反田5-5-7
工場／長野県松本市筑摩4-1-20